

広報

への

No. 237

2015.

11.1

平成三

本当に大切なものは、目には見えないの
その最たるもの、でも1番大切なのが人の「心」
人は、見えないもので生かされていると考えて
(10月11日、天台寺寂聴師法話にて)

小さなまちの大きな挑戦

-3年目に手にしたもの-

NINOHE City Fair in NY 2015

平成25年、「小さなまちの大きな挑戦」として始動した「にのへブランド」海外発信事業。3年計画の本事業はことし、集大成の年を迎えました。

市の誇る特産品を「にのへブランド」として世界へ発信することは、これまで国内での販路拡大、地場産業の振興を目的とした本事業。中でも注力するのは、日本一の生産量を誇り、従来から振興に努めてきた「浄法寺漆」の売り込み。魅力をいかに伝え、販路を拡大できるかが勝負。

1年目はまず、広く二戸を知ってもらおうと、在ニューヨーク日本総領事館大使公邸でのレセプションを開催しました。「浄法寺漆+日本酒」をメインにいわて短角和牛や特別栽培米いわてつこを振る舞いながら「にのへブランド」をPRしました。2年目は、ニューヨーク

市内のレストランで二戸産食材を使った限定メニューを漆器で提供しながらPRするとともに、ニューヨーク共同貿易主催のレストランエキスポへ出展し、特産品の輸出の可能性を探りました。

そして3年目のことし、「にのへブランド」の最も効果的なプロモーションとは何か原点回帰。「浄法寺漆+日本酒」を融合させ、特化したフェアやレクチャー(説明会)を開催することで、より深い理解を誘いました。また今回はモノの魅力や価値を伝えるにとどまらず、実演など交えながら漆文化を丁寧に紹介しました。他方、藤原淳市長はニューヨーク市内の高級日本食レストランで浄法寺塗の魅力を自らトップセールスしました。

人口3万人弱の小さなまちの挑戦でしたが、外務省をはじめ関係機関やニューヨーク在住者の協力など、多くの皆さんに支えられて実現することができました。3年目に手にしたもの、それはこれからも続いていく縁と、世界で戦える「にのへブランド」への確かな手応えです。

「浄法寺漆+日本酒」セミナー

& にのへシティフェア in ニューヨーク 2015 オープニングレセプション

10月6日、「浄法寺漆+日本酒」セミナーとオープニングレセプションをニッポンクラブで開催しました。高橋礼一郎在ニューヨーク総領事・大使をはじめ、本事業でお世話になった約100人を招待。セミナーでは、滴生舎の小田島勇主任技師が漆の魅力や文化を、(株)南部美人の久慈浩介代表取締役社長が日本酒と漆器の相性の良さを伝えました。このほか、金田一営農組合の五日市真一さん、(株)南部美人研修生のベン・ベルさんがそれぞれ講演。別室では漆掻き・漆塗りの実演ほか漆器で楽しむ日本酒の試飲バーを開設。併せて南部せんべいなど特産品を紹介しました。



左/7Fギャラリーに展示された浄法寺漆器の美しさに見入る来場者
右/小田島主任技師による漆セミナー

- 広報にのへ 11月1日号 CONTENTs -

- 222019 18 GO!GO!!いわて国体
びかつとニュース
慶弔・休日当番医など
- 17 小さな美術館
図書館情報
マイ・トレジャーズ
- 16 こしやゝる
- 15 今やらねば
田中館愛橋の生涯⑩
- 14100906 風光る 田口頌悟さん
二戸市社会福祉協議会浄法寺支所
こみゆにTeaたいむ
- 040201 瀬戸内寂聴師、青空王法話
にのへシティフェア in NY
学力向上推進事業
〜学びをチカラに〜
へのへトピックス
ピックアップ★イベント情報
News&Information



イラスト：きり光乗

日本食レストランで 浄法寺漆のトップセールス

藤原市長は、ニューヨーク市内の高級日本食レストランで浄法寺漆を使用してもらおうと10月6日、7日、9日、トップセールスを行いました。事前に形や塗りなど打ち合わせを重ねた2店舗については、今回現物を届けました。寿司プレートを手にしたIchimura at Brushstroke (イチムラ・アット・ブラッシュストローク)の寿司職人市村栄司さんは「浄法寺漆の控えめながら丁寧で上質なつくり惚れた」と、Kyo Ya (饗屋)のシェフ園力さんは「大切に使い、取り扱いも十分気を付けたい」と気に入ってもらえた様子。そのほか2店舗(Hi-Collar、Kajitsu)については今後の使用について、詳細を打ち合わせました。



左/Kyo Yaの園さんにモニタリング用のプレートを手渡す藤原市長
右/Ichimura at Brushstrokeの市村さんに浄法寺漆と漆器の説明をする小田島主任技師(右)

ニッポンクラブギャラリーで 浄法寺漆展覧会&レクチャー



左/漆掻きの実演をする鈴木さん(左) 右/参加者は「漆に対する理解を深められました。実際に、口当たりが柔らかいですね」と話し、漆器飲む日本酒を楽しんでいました



10月8日、浄法寺漆と日本酒を融合させたレクチャーをニッポンクラブで開きました。漆のレクチャーは、漆掻き職人で塗師の鈴木健司さん、滴生舎の小田島主任技師と塗師の三角さんが実演を交えながら担当しました。また、酒レクチャーは米国在住の“酒サムライ”ティモシー・サリバンのさんが漆器で味わうSAKEの楽しみ方をナビゲート。鈴木さんは「米国人も、ニューヨーク在住の日本人も、とても反応が良かった。発信し続けることで日本の漆文化の素晴らしさを見直すきっかけになれば」と話しました。なお、同会場では6日より浄法寺漆の展覧会と特別展示販売を開催。レクチャーで漆に魅せられた来場者らが次々と漆器を手にし、ほぼ完売となりました。



「にのへブランド海外発信事業」を総括 総合政策部長 大沢 治

Q. 3年間のシティプロモーションを振り返り、今どのように感じますか？

1年目、はじめてニューヨーク・マンハッタンに着いた時は街の雰囲気とスケールがあまりに違い、正直関心を持ってもらえるか不安でした。ことして3年、心配は全く無用。重要なのは、理解してもらうための継続的な仕掛けと人脈づくりで、まちの大小ではありません。今回、私たちがプロモーションした「にのへブランド」は世界でも通用すると確信が持てました。これは、地域の自信に繋がり、大きな希望となるものだと思います。

Q. 見えた課題は？

価値がありどんなにイイモノでも、理解してもらえなければ伝わりません。発信方法はもっと研究する必要があります。また今後は、現地での評価を地元を持ち帰り、整理し、展開を組み立てていく必要があります。

Q. 今後の展望は？

今回、海外展開の足掛かりをつかみました。若い人たちは特に、自信と誇りを持って海外へ挑戦してほしい。行政はそれを応援し、二戸の魅力発信と地場産業の振興に向け、より目に見える成果に繋げたいです。

学びを チカラに

東京学芸大学との教育交流と「全国学力・学習状況調査」
「児童生徒質問紙調査」の結果についてお知らせします。

TOPIC 1
東京学芸大学と教育交流

市教育委員会は東京学芸大学と連携し、教員や学生の相互派遣を通じた学
力向上に取り組んでいます。

市内の教員・東京学芸大付属校を視察
6月25、26日の2日間、市内小中学校の教員15人が東京学芸大学付属大泉小学校および小金井中学校を視察しました。
大泉小学校では、6年生の授業を視察。この授業は教育実習生への模範授業を兼ねており、大学生ら約100人も参加しました。同授業から、児童の思考に「一

貫性をもたせること」や授業のメリハリが大切であることを学びました。
また小金井中学校では、3年生の授業を視察。同校では、教材研究の重要性と授業には生徒自身が考える場が必要であることを学びました。



東京学芸大付属小金井中学校を視察する小中学校教員

東京学芸大 出口利定学長・二戸で講演
市学校教育研究会（小保内悟会長）は7月31日開かれ、小中学校の教員ら約200人が参加しました。同会では出口利定学長が「次世代育成教育の展望」と題して講演。「これからの社会はグローバル化が進み、一層の知識基盤社会（注1）となるだろう。次世代を担う子供たちに必要なのは「考える力」。この力を養うためにはコミュニケーション、会話が重要。インターネットに依存した文字情報

のやり取りだけではなく、人と対話をする
ことで血の通った感情の育成や「聞く力」を育ててほしい」と話しました。
（注1）知識を生み出し、加工し、使いこなし、人々が伝え共有することで動かしていく社会

東京学芸大の学生・二戸で学習支援
学生13人が8月5、7日の3日間、当市を訪れ、「サマー・スタディ（合同学習会）」を開催しました。同勉強会には市内小中学生延べ220人が参加。大学生は、児童生徒の表情や進度を見ながら話掛け、疑問に応答しながら自主学習を見守りました。参加した生徒は「学校の授業は自分から分らなくても進んでしまいうけど、大学生は分かるまで教えてくれた。どこまで理解できているか聞きなが



東京学芸大の学生、市内の児童生徒を学習支援

ら進めてくれたので、自分のペースで学び、理解を深めることができた」と、学習会を有意義に過ごした様子でした。

市内の教員・東京学芸大で公開講座を受講

東京学芸大学短期研修は8月5、7日の3日間行われ、市内小中学校の教員4人が受講しました。勝山浩司副学長による講話、食物アレルギー対応の最新事情、理科教材に関する講座など先進的かつ専門的な教育を学びました。

市内小中学校教員・道徳セミナーを受講

道徳授業パワーアップセミナーは8月10日、東京学芸大学で行われ、市内小中学校の教員3人が受講しました。道徳が教科となることから「評価基準はどうするのか」など、具体について先進的に学びました。なお研修報告は9月30日、福岡中学校を会場に行われ、研究会では東京学芸大付属小金井小学校の遠藤信幸教諭より助言を受けました。

東京学芸大学付属校の教員・二戸で出前授業

優れた指導で定評のある教師を招き、
範となる授業を示してもらおう本出前授業は8月28日行われました。ことしは東京学芸大付属小金井小学校の高橋丈夫教諭を招き、石切所小学校で実施。市内外の教員ら41人が出席しました。次回は、11月4日に金田一中学校で実施予定です。

TOPIC 2 子どもの学力は伸びています！

小学6年生および中学3年生を対象とした「全国学力・学習状況調査(以下、「全国学調」)」は4月21日、市内の全小中学校で行われました。調査科目は国語、算数・数学、理科の3教科。この結果から見えてきた学力の状況などを紹介します。

学力向上推進事業とは・・・

全国学調は平成19年度から実施されており、当時の学力結果は全国平均を下回っていました。そこで市教育委員会は算数・数学分野を重点指導教科と定め、平成23年度に「学力向上推進事業」を立ち上げました。

結果、平成25年度県が実施した学習定着度状況調査では、小学校4、5年生の国語、算数、理科など実施全科目で県平均を上回りました。

小学生「国語」で成果！

国語の学力は近年、小中学校ともに全国平均を上回る状況で推移しています。なお特筆すべきは、応用問題(いわゆるB問題)の正答率が全国学調開始以降、最も高くなったことです(図1・2参照)。

小学生「算数」で成果！

算数における課題は改善されつつあり、基本問題(いわゆるA問題)は近年、全国平均を上回る状況で推移しています(図1参照)。

中学生「数学」は課題！

数学は、岩手県全体の課題ですが、当市もなかなか全国平均を上回ることが難しい状況です。なお、年度により難易度や数値にばらつきがみられますが、概ね改善に向かっていると見えます(図2参照)。

小中学生「理科」で成果！

理科は、平成24年度に実施されて以来3年ぶりの調査となりました。小中学

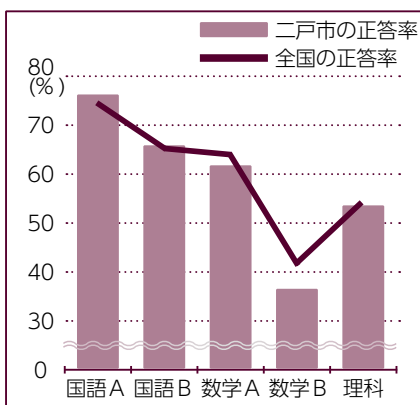


図2. 2015年度全国学調による全国と市の正答率の比較について(中学3年生)

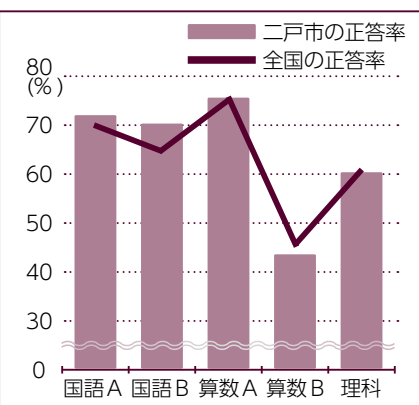


図1. 2015年度全国学調による全国と市の正答率の比較について(小学6年生)

継続は力なり

学力は、知識の量やテストの結果など「見える学力」と、点数で表すことが難しい学習意欲や考える・判断する力などの「見えない学力」に大別できます。市教育委員会は、この見えない学力も大切に、今後も継続して授業改善の取り組みを実施します。

学びの習慣を身につける

児童生徒の健やかな成長と学力の向上には、基本的な生活習慣の定着と学びの習慣づくりが大切です。

中学3年生の学習時間が少ない！

中学3年生が、1日に2時間以上学習する割合は、全国や岩手県に比べて低い状況でした。さらに、昨年度の中学3年生より低くなっています(図3参照)。

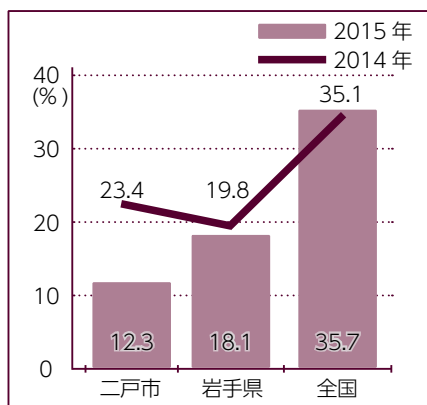


図3. 1日当たり2時間以上勉強している中学校3年生の割合(%)について

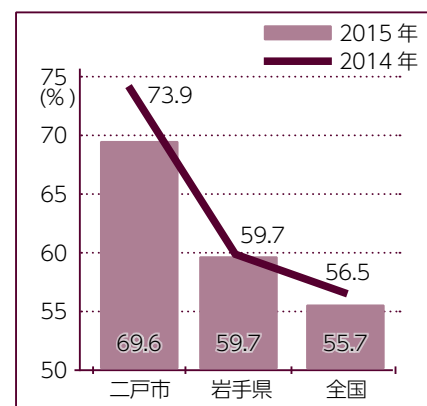


図5. 1日当たり2時間以上テレビを視聴する割合(%)について(中学3年生)

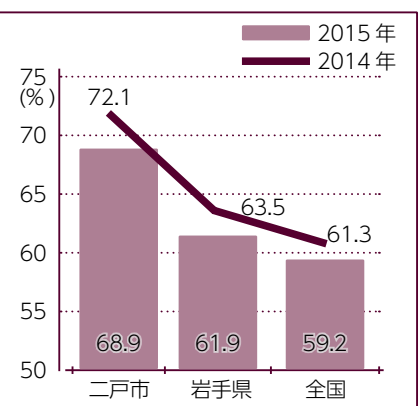
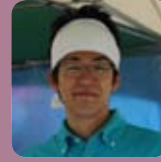


図4. 1日当たり2時間以上テレビを視聴する割合(%)について(小学6年生)

テレビを見過ぎ！

「1日にテレビなどを見る時間」について、2時間以上と回答した小学6年生の割合は、昨年度より減少したものの、全国や岩手県の割合を依然超過しています(図4参照)。

中学3年生も同様、全国および岩手県の平均を超えています。また、ことしの中学生は、小学生よりもテレビを見ている割合が高いことも気になります(図5参照)。



へのトビックス

●身近で起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの情報をお待ちしています。
情報管理室 ☎ 23-3114 (ダイヤルイン)、FAX 22-1195

防 市防災訓練、福岡中防災レスキュー講座 災への備え、あらたに

市防災訓練は9月27日、中央小学校ほかで行われ、地域住民らおよそ700人が参加し、初期消火訓練や119番通報訓練などを行いました。また生きいき交流センターでは、自主防災組織が主体となり避難所運営訓練も。訓練の最後に藤原淳市長は「日ごろの訓練と地域の信頼関係のもと、自分の地域は自分で守る意識を持って」と呼び掛けました。

また、福岡中学校(千葉康彦校長)は9月29日、防災レスキュー講座を開講。はじめに二戸消防署九戸分署の荒谷雄幸副分署長が講演。「中学生は地域の防災力を高めるため、日ごろから地域にとけこんで」と訴えました。次に生徒は、救急救命法や災害弱者支援などについて専門家の説明を受けました。傷病者搬送法を学んだ柳下尚基君(3年)は「この方法で助かる命があるかもしれないことを常に頭に入れておきたい」と、保健委員長の奥千夏さん(同)は「普段学べないことを学べた。災害時には被害者を助けられるようになりたい」と、それぞれ話しました。



1/自主防災組織による避難者名簿作成の様子 2/荒谷さんは震災被害についても説明 3、4/車いす利用者の避難誘導や避難所運営も学びました



誓約書を提出した工藤会長(中)と会員の沢田通江さん(右)

飲 金田一交通安全母の会は誓約書提出 酒運転根絶に、母の力

金田一交通安全母の会(工藤ミナ会長)は9月24日、二戸警察署(小野寺啓泰所長)に、金田一地区住民2,479人分の「飲酒運転根絶誓約書」を提出しました。小野寺署長は「飲酒運転の根絶には、これからお母さん方の力が必要です」と話しました。

漆

東北芸術工科大との連携事業

の里を隅から隅まで体験

東北芸術工科大学（山形県）の学生8人は9月24～27日の4日間、浄法寺地区で浄法寺漆や文化などを学ぶ「浄法寺体験プログラム」に参加しました。25日にはふるさと文化財の森で、下草刈りや漆掻きしやうこの見学、体験を行いました。杉浦詔子しやうこさん（3年）は「漆の木がどういう過程で育ち、再生するのか勉強したうえで下草刈りの作業に関わってよかった。漆掻きを体験し、木から染み出る漆も初めて見ました」と充実した表情で話しました。



漆掻き研修生の荻野剛司さん（左）とともに初めての漆掻き



十五夜の月明かりの下、ナニャトヤラを踊り続けました

皆

上野地区「草原の風 星まつり」

で踊る、宵のナニャトヤラ

上斗米上野地区の「草原の風星まつり」（同実行委主催）は9月27日、八幡神社境内などで行われました。参加した人は、地域に受け継がれる味噌味のジンギスカンに舌つづみを打ちながら、二戸西小学校の児童による朗読や民謡を楽しみ、締めくくりは老若男女が懸賞付きナニャトヤラみのるで盛り上がりました。実行委員長の大沢稔さんは「地域が元気になれるよう、小さくてもこのまつりを続けていけたら」と期待を込めました。

言

劇団四季 presents 「美しい日本語の話し方教室」

葉を明快に、美しく話すには

劇団四季の俳優から「美しい日本語の話し方」を学ぶ教室が10月4日開かれ、市内の小学4～6年生10人が参加しました。教室は同劇団が2005年度から全国各地で実施しているもので、岩手での開催はこの日が初。前半は“母音”を意識した話し方を、後半は「友だちはいいもんだ」の歌唱を通し「言葉で思いを伝える」実習をしました。参加した福原花恋かれんさん（金田一小6年）は「楽しかった。これからは言葉を意識して話してみたい」と笑顔のをぞかせました。



「連母音」「連子音」「長音」を大切に話してみよう



ことし産の農産物も多く提供されました

北

トリコロールフェスタ

東北の味を堪能！

トリコロールフェスタは10月17、18日になにゃとで行われ、多くの来場者が訪れました。

会場では二戸のご当地グルメとともに、北東北の多彩な山・海の幸が提供され、中には長蛇の列をつくった人気店も。またステージではナニャトヤラや民謡などが披露されました。九戸政実なりきり体験をした佐々木愛華あい かさん（金田一小1年）と弟の春空君はるくは「初めてかぶとをつけて、うれしかった」と、満面の笑顔を見せました。

時 秋の味覚フェスタ！ 節を、とことん楽しもう！

秋空のもと、新そばやサンマなど旬の「うまいもん」と多彩なイベントを楽しむ味覚フェスタ（同実行委員会主催）は10月25日、浄法寺総合支所前で開かれました。ことしは合併10周年記念として地元企業が提供した豪華景品付きの餅まきが催され、大人も子どもも「こっちに投げて〜」と歓声をあげながら楽しんでいました。見事、短角和牛肩ロースを手にした大村昌敏さん（盛岡市）は「今夜、いただきます！」と満面の笑みを浮かべました。



「テレビ当たれ〜!!」「肉欲〜い!!」（餅まきを楽しむ参加者）

九戸城古戦場まつり

日中、九戸城の魅力を満喫

九戸城古戦場まつり（市観光協会ほか主催）は9月26日、九戸城跡で行われました。昼の部では流鏝馬や弓道の体験コーナーやお茶の提供など、また夜の部は呑香稲荷神社神代神楽や二戸大作太鼓などが披露され、来場者は一日中九戸城の魅力を満喫していました。九戸城ガイドに参加した柴田敏行さん、ゆかりさん夫妻は「九戸城のガイドは初めて聞いたが、とてもわかりやすかった。ほかにもさまざまなイベントを楽しみます」と話しました。



人気の弓道体験コーナーにはたくさんの人が並びました



色、粘度、乾燥、底カスの状態などを審査しました

こ 第37回浄法寺漆共進会 としの浄法寺漆、品質上々

ことし採取した浄法寺漆の品質を評価する共進会が10月17日開かれ、生産者は採取した時期ごと3部門（初辺、盛辺、末辺）の漆40点を出品しました。審査員を務めたデザインツール代表の高橋勇介さんは「第1回から審査しているが年々質が向上している。ことしは均一な逸品で素晴らしい出来」と太鼓判。岩手県浄法寺漆生産組合の泉山義夫組合長は「少雨の影響を心配したが品質は良かった。今後さらに需要拡大が見込まれるので、後継者の育成が喫緊の課題」と話しました。



ボランティア団体の皆さんなどによる屋台は大好評

ボ 第2回浄法寺町ふれあい祭り ランティア団体が交流深め

第2回浄法寺町ふれあい祭り（ふれあいのまちづくり推進会ほか主催）は10月10日、Jホール駐車場ほかで行われました。浄法寺地区のボランティア団体などが参加。福祉バザーやフリーマーケット、野菜やくしもち、田楽の屋台などを出店し、会場は大いににぎわいました。また、浄法寺小学校の児童が「わんこダンス」、浄法寺中学校の生徒が「浄中ソーラン」を披露。このほか、児童生徒がボランティアで参加するなど、イベントを盛り上げました。

石切所に、にぎわいを!

おっこナイト

期間 11.13 (金) ~ 20 (金)

★ とっこ大抽選会 (11.13 (金)と 20 (金)各 19:00 ~ 22:00、

特設会場)

二戸駅前の飲食店で期間中飲み歩きラリーを実施します
1店舗につきスタンプ1個をGET! 2個集めると1回
抽選ができます。

[参加店舗] 居酒屋きんじ、駅前食堂 味味、酒処 館、
スナックRORAN、森ちゃん、
レストラン ボヌール、炭火焼きはる

★ イルミネーション&行灯ライトアップ

期間中、毎日点灯! (駅前通り、駅前広告塔、きんじ、
二戸駅東口、枋ノ木神社 (予定))

★ ウェルカムセレモニー (11.13 (金) 18:00 ~、二戸駅東口)

- ・イルミネーション点灯式
- ・石切所小学校マーチングバンド演奏
- ・特製肉汁おふるまい (先着順)



【問い合わせ先】 石切所にぎわい創出事業実行委員会事務局
(石切所公民館 ☎ 23-3990、二戸市地域振興課 ☎ 23-3115)

健康フェスティバル 2015

日時: 11.22 (日) 10:00 ~ 15:00

会場: カシオペアメッセなにやーと

ことしのテーマは「脳卒中の予防」

岩手県は脳卒中死亡率がワースト1です。この機会に
脳卒中の予防について学びましょう。

「味噌汁の塩分」を測定してみよう

家庭の味噌汁にはどれくらい塩分が含まれているか一
度確認してみましょ。会場にお持ちいただければ塩分
濃度を測定します。

その他・・・

健康相談、血圧測定、幼児・高齢者歯科優良者表彰式、
消防はしご車試乗、飲食コーナーなど

【問い合わせ先】 健康推進課 (☎ 23-1313)

ハンドマッサージ、
気持ちいい〜♪



ニュース

ショートトラック初開催



女子 1500 メートル。山梨学院大・松島ジョアンナ瑤子選手（手前）が優勝

来年 1 月に行われる希望郷いわて国体冬季大会のリハーサルを兼ねた第 38 回全日本学生ショートトラックスピードスケート選手権大会は 10 月 17、18 日、県立県北青少年の家で開催され、男子 12 校 49 人、女子 12 校 29 人が激闘を繰り広げました。

ショートトラックの大会が岩手県で開催されるのは今回が初めて。開会式で藤原淳市長は「競技を間近で見られるのが楽しみ。選手の皆さんは十分に力を発揮して」と激励しました。

競技は学校対抗の得点制。500^{メートル}、1000^{メートル}、1500^{メートル}、3000^{メートル}（男子のみ）、男子 5000^{メートル}リレー、女子 3000^{メートル}リレーが行われ、男女ともに神奈川大学が総合優勝しました。

ニュース

村竹啓恒選手、W杯出場決定



W杯の意気込みを語る村竹啓恒選手

本市で開催される希望郷いわて国体スケート・ショートトラック競技の注目選手・村竹啓恒選手（岩手県体育協所属、カシオペア氷上スポーツクラブ会員）が、ワールドカップ（W杯）出場選手の選考を兼ねた第 26 回全日本ショートトラックスピードスケート距離別選手権大会（10 月 3、4 日、長野県）に出場し、500^{メートル} 2 位、1000^{メートル} 3 位の好成績で W 杯 1～4 戦の出場選手に選ばれました。村竹選手は 9 日、市役所を訪れ「目標は決勝進出。冷静にベストを尽くす」と意気込みを語りました。W 杯の日程は以下の通り。【第 1 戦】10 月 30 日～11 月 1 日、カナダ・モントリオール【第 2 戦】11 月 6～8 日、カナダ・トロント【第 3 戦】12 月 4～6 日、愛知県名古屋【第 4 戦】12 月 11～13 日、中国・上海

（この部分のテキストは上記の段落に重複しています）

募集

「新・にのへ物語 X」第 5 回

テーマ 「二戸の宝さがし」

私たちの住む二戸市とは、どんな「まち」？

人口減少、財政難…この「まち」の未来はどうなるだろう？

23 年前市民に呼び掛け、自然・歴史・伝統文化など「自分が大切に思っているもの、自慢できるもの、いつまでも残したいもの」つまり『宝』を探し、書き出してもらったことからはじまった宝さがしの意義、内容、事例などについてお話しします。

日時 11 月 29 日（日） 午前 10 時～11 時 30 分

場所 中央公民館

講師 元二戸市長 小原豊明さん

参加料 無料

問い合わせ、申込先 二戸歴史民俗資料館（☎ 23-9120）

ニュース

交通安全啓発運動実施



ドライバーへ安全運転を呼び掛けました

交通死亡事故抑止を目的とした「A・I（愛）の架け橋セーフティロード作戦」（二戸警察署、三戸警察署ほか主催）は 9 月 30 日、国道 4 号の雨滝駐車帯で行われました。青森県（A）と岩手県（I）が合同で実施している本作戦は今年で 20 回目。この日は二戸市と三戸町の交通関係機関・団体ら約 200 人が参加しました。

開会式で小野寺啓泰二戸警察署長が「交通量の多い国道 4 号での啓発活動は交通死亡事故抑止に寄与するもの。1 人 1 人の安全意識高揚が大切」とあいさつ。その後、参加者らはドライバーへ啓発グッズやチラシを手渡ししながら安全運転、早め点灯などを呼び掛けました。

ニュース

優良運転者のみなさんを表彰

二戸地区交通安全協会と二戸警察署は 10 月 9 日、シビックセンターで平成 27 年秋季優良交通団体・交通安全功労者・優良運転者表彰式を行いました。本市の受賞者の皆さんを紹介します。（敬称略）

【交通安全栄誉章「緑十字銅章」全日本交通安全協会会長表彰】

交通安全功労者▷澤田通江

【岩手県警察本部長・岩手県交通安全協会会長連名表彰】

優良交通団体▷二戸地区交通安全協会 石切所分会

優良運転者▷田村千重子、高村文昭、一条幸子、嶋野徳四郎、沢田佐織、菅原和男、峠下文雄

【二戸警察署長・二戸地区交通安全協会会長連名表彰】

優良交通団体▷金田一中学校、御返地小学校

優良運転者▷長村仁、松山功、鈴木政一、四戸みき子、陣場次郎、佐藤秀和、槻館行男、多田久子、上戸瑞穂、菅原健一、小野寺真由美、菅原恵

【感謝状】※「交通安全こども隊員」として協力

川崎志優、佐々木理玖

ニュース

在京二戸人会・浄法寺会 総会

在京二戸人会（五日市進会長）は 10 月 17 日、東京ガーデンパレスで平成 27 年度定例総会・交流会を開きました。首都圏在住の本市出身者やゆかりのある人など 70 人が参加。総会では戸館弘幸副市長が、国体



思い出話に花を咲かせる二戸人会員

開催に向け市全体で歓迎準備を進めていることを紹介。また、ふるさと納税をはじめ日ごろの支援に感謝を述べました。

翌 18 日には、在京ふるさと浄法寺会（清川和廣会長）がサンミ高松銀座 7 丁目店で平成 27 年度定期総会・交流会を開催。参加したおよそ 80 人が旧交を温めました。

お知らせ

二戸チェーンソーアート大会

日時 11月7日(土)、8日(日)
午前8時30分～

場所 金田一温泉郷くつろぎ広場

内容 メンカービング(7日は9:00～16:00、8日は9:00～12:00)
8日▷10:00～一般審査
※審査に参加してプレゼントをもらおう!
13:00～クイックカービングショー
※来場のお子さんに、抽選でプレゼント!
13:30～オークション
14:00～審査発表

問い合わせ先 二戸市商工会青年部
(☎23-4361)



去年のメンカービングの様子

お知らせ

金田一温泉観光りんご園収穫祭

利きりんご大会、りんご皮むき大会、ピング大会、家庭用・ギフト用りんご販売ほか、山内神楽(軽米町)の演舞など多彩なイベントでお待ちしています。

当日は金田一温泉の各旅館・温泉センターでりんご風呂を実施。さらに入浴料が半額になります!ぜひお越しください

日時 11月8日(日) 午前10時～午後2時

場所 金田一温泉センター駐車場ほか

【りんごもぎ取り体験(無料入浴券付)】
午前9時30分から収穫祭会場で受け付けを開始します。先着100人に限り1,000円で3kg入り用のかごで持ち帰ることができます。

問い合わせ先 金田一温泉協会 (☎27-2540)

お知らせ

ワンコインにのへ絶賛開催中!

お店自慢の対象メニューが、ワンコイン(500円)またはツーコイン(1,000円)でお得に味わうことのできる「ワンコインにのへ」ですが、クーポン券が無くても対象メニューを注文できるようになりました!

お店で「ワンコインメニューをお願いします」と注文してください。お気に入りのお店で何度でも利用いただけます。

クーポン開催期間 12月31日(木)まで

クーポン券の入手方法 参加店で無料配布中です

問い合わせ先 二戸若手料理人の会事務局・大沢 ☎050-3710-1972、ホームページ <http://ryourinin.ninohe-city.com/>

お知らせ

「冬恋」収穫体験

甘みが強くシャキシャキとした食感の“はるか”。このうち、蜜入り、高精度のものだけを選別したのがブランドりんご「冬恋」です。とっても甘くてジューシーな冬恋の収穫体験。ぜひご参加ください。

日時 11月28日(土) 午前10時

ニコア南側入口前集合(園地まで徒歩で移動します。体験終了後にニコア駐車場にて解散)

料金 1,000円(試食、お土産付き)

内容 ブランドりんご「冬恋」1個摘み取り、糖度測定

募集人数 25人

申込方法 11月9日(月)から申し込みを受け付けます

問い合わせ、申込先 二戸市観光協会 (☎23-3641)



ブランドりんご冬恋

お知らせ

11月は児童虐待防止推進月間

11月は児童虐待防止推進月間です。児童虐待は、子どもの人権を著しく侵害し、心身の健全な成長や人格形成に重大な影響を及ぼします。「虐待を受けたと思われる子どもがいたら」「ご自身が出産や子育てに悩んだら」下記相談窓口にご連絡ください。

相談窓口 児童相談所全国共通ダイヤル(☎189)、岩手県福祉総合相談センター(☎019-629-9613)、子育て支援企画課(☎23-1325)

お知らせ

第4回青果市場まつり

今年も地域の皆さまのおかげで収穫の秋を迎えることができました。日頃の感謝の気持ちを込めて青果市場まつりを開催します。ぜひお越しください。

日時 11月22日(日) 午前10時～午後3時

会場 二戸青果市場(小原内科医院裏)

内容 りんご無料プレゼント(先着100人)、野菜詰め放題、豪華景品が当たるじゃんけん大会、お楽しみ輪投げコーナー、豚汁のおふるまい、贈答用りんご・訳ありりんご・野菜・果物の販売会、各種出店(フリーマーケット、串餅、クレープ、手作り菓子)など

問い合わせ先 二戸青果市場 (☎23-7525)

お知らせ

探鳥会@にのへ市

日時 11月18日(水) 午前9時～11時

集合場所 シビックセンター内芝生

コース 馬淵川近隣公園&九戸城跡

案内人 高橋宏明さん(日本野鳥の会もりおか幹事)

参加費 無料 ※事前申し込み不要

歩きやすい服装でお越しください。小雨決行(雨天中止)
※双眼鏡を持っている人は持参してください

問い合わせ先 カシオペア連邦野鳥倶楽部 (☎23-4101)

11月は「子ども・若者育成支援強調月間」

-いのち輝くみんなの未来-

詳しくは内閣府ホームページへ

<http://www8.cao.go.jp/youth/ikusei/>
問い合わせ先: 福祉課 (☎23-1313 内線236)

お知らせ **二戸の工芸手仕事展**

日時 11月14日(土)～15日(日)
午前10時～午後4時(最終日は午後3時)

場所 カシオペアメッセなにゃーと メッセホール

内容 竹工芸、木工芸、クラフト工芸、裂き織り、陶芸など
実演および展示販売、体験教室(裂き織り、スタンドグラスなど)、特別展示コーナー(漆かき工具、浄法寺漆器、竹細工など)、参加店協賛による抽選会

問い合わせ先 なにゃーと物産センター (☎ 22-4395)

お知らせ **風力発電事業評価書の縦覧について**

岩手県企業局が一戸町高森高原で計画を進める「高森高原風力発電所(仮称)」について、環境影響評価書をまとめたので次のとおり縦覧を行います。

期間 11月24日(火)まで
午前8時30分から午後5時(土・日・祝日を除く)

場所 政策推進課、浄法寺総合支所地域課

問い合わせ先 岩手県企業局業務課 (☎ 019-629-6401)

お知らせ **(仮称)稲庭風力発電事業の計画段階配慮書、公表**

環境影響評価法に基づき(仮称)稲庭風力発電事業の計画段階配慮書を次のとおり公表します。環境保全の見地からの意見をお持ちの方は、書面により提出することができます。

公表場所 浄法寺総合支所

公表期間 11月9日(月)～12月8日(火)

公表時間 開庁日の午前9時～午後5時(開庁時間に準ずる)

電子縦覧 <https://www.inveneryllc.com/publicflings/inaniwa.aspx>

問い合わせ先 インペナジー・ジャパン(同) (☎ 03-6261-4456、担当:上原)

お知らせ **ありがとうございます**

【ふるさと納税 9月1日～30日受付分】
まちづくりのために 122件 = 1,585,000円
教育のために 47件 = 960,000円
福祉のために 12件 = 120,000円

以上、181名様より2,665,000円のご寄付をいただきました。ありがとうございます。ご芳名は市ホームページで紹介させていただきます。

三圏域連携事業 八戸★トピックス

マリエントコレクション
(マリコレinクリスマス)
～最先着のファッションブルな生き物たち～
2015

11月15日(日)～12月27日(日)
マリエント3階展示室

開催期間 11月15日(日)～12月27日(日)

問い合わせ先 八戸市水産科学館マリエント (☎ 0178-33-7800、FAX 0178-33-7801)

制作:八戸工業大学第二高等学校 伊藤 唯

お知らせ **インフルエンザ予防接種の助成**

冬は気温が低く空気も乾燥するのでインフルエンザが流行しやすい季節です。一般的なかぜと違い、重症化することがありますのでしっかり予防しましょう。

-インフルエンザ予防接種費用の助成について-

期間 平成28年2月29日(月)まで

対象者 生後6か月から中学生以下、65歳以上の人

内容 インフルエンザの予防接種料金のうち2,000円(一人一回のみ)を助成します。配布された予診票を持参し、希望の医療機関で接種を受けてください。接種料金は医療機関ごとに異なりますので、事前に医療機関まで問い合わせください。

問い合わせ先 健康推進課 (☎ 23-1313 内線332)

認定こども園ともいき
平成28年度
1号児申込受付
11月2日(月)～

予定は変更する場合があります。まずはお問い合わせ下さい。

**1号児・2号児
入園説明会**
12月21日(月)

1号児は幼稚園児
2号児は保育園児(3～5歳)に相当します。

社会福祉法人 明照学園
〒028-6101 二戸市福岡字上平27 TEL 0195-23-2530
<http://www.kodomoentomoiki.com>

**売地、売家、貸家
アパート探しています。**

住宅ローンの相談も受け付けております。
お気軽にご相談ください。

住まい探しの店 (株)ピラス 不動産部
宅地建物取引業免許 岩手県知事(1)第2421号
二戸市福岡字中町21
TEL 0195-43-3800 【携帯:090-2020-9515(田中)】
(社)岩手県宅地建物取引業協会会員 東北地区不動産公正取引協議会加盟

まごみ訪問マッサージ

医療保険を使った訪問マッサージを行っています。患者様やご家族の方の不安を少しでも解消できます様、無料体験という形でマッサージ治療を体験して頂いています。ご不安や疑問に対して、納得頂けるまでご説明させていただきます。

無料体験マッサージを行っています。まずはお電話ください。

☎0195-43-3170 家庭で出来るマッサージをご紹介します。

受付時間 9:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

当社の施術者は全て国家資格取得者です。安心して施術をお任せ下さい。
医療保険を使う場合は、医師の同意書が必要です。

【二戸店、九戸店、久慈店】
(お近くの店舗からお伺いいたします。) **あんま・マッサージ・指圧師募集!**

まごみのマッサージ動画配信中! <http://www.magomi.com>

荒瀬橋通行規制&路線バス迂回のお知らせ

一般県道二戸一戸線荒瀬橋橋梁補修工事に伴い、車幅1.7mを超える車両の交通規制を行います。(二戸駅方面から「レストパーク馬淵川」までは通行できます。) また工期中、路線バスは迂回して運行します。

規制期間 11月10日(火)～平成28年3月16日(水)の予定

作業形態 車幅1.7m(5ナンバー程度)を超える車両は全面通行止め、普通車は片側交互通行により通行可能

路線バスの迂回 二戸駅→石切所前田→石切所諏訪前→野中交差点を通り国道4号に出るルート(浄法寺通り)を走行します。なお、JRバスは巖手屋二戸本店付近に臨時バス停を設置します。

工事の問い合わせ先 県北広域振興局二戸土木センター (☎23-9209) **施工業者** (株)中館建設 (☎23-3311)

バスの問い合わせ先 JRバス二戸営業所 (☎23-5229)、岩手県北バス一戸営業所 (☎33-2231)



求人情報

ハローワーク二戸

10月15日現在、ハローワーク二戸に申し込みのあった求人の中から掲載しました。求人に関する問い合わせは、ハローワーク二戸(石切所字荷渡6番地1 ☎23-3341)まで。(☎はパート) ◎ハローワークでは随時紹介を行っています。この求人の中には決定済みになっている場合がありますのであらかじめご了承ください。

職種	事業所名
営業マネージャー職 (営業所長候補生)〈要経験〉	富国生命保険(相) 盛岡支社二戸営業所
測量技術者	(有)下斗米測量設計
看護職員〈要資格〉	(有)アーヴェリック
支援員	NPO法人三の丸ひまわり
介護支援専門員〈要資格〉 (要経験)	(社福)桂泉会 ケアセンターいずみ
眼鏡販売スタッフ(要経験)	(有)めがねバイキング
営業補助※別求人あり	(株)アルバライフ
介護職員※別求人あり	(社福)いつつ星会
介護職員※別求人あり	(社福)共生会
介護職員〈要資格〉※別求人あり	(社福)桂泉会 ケアハウスまべち川
介護職員	(社福)桂泉会 特別養護老人ホーム浄心園
美容師〈要資格〉	(株)リリー
美容・理容アシスタント 〈要資格〉	(有)タケダ
厨房係(調理補助)(要経験)	(株)二戸パークホテル
食品製造工(カットおよび包装作業員)	(株)昭和食品 東北事業部岩手県北工場
ソーイングスタッフ	(株)三和ドレス二戸工場
自動車整備士〈要資格〉(要経験)	二戸自動車整備協業組合

職種	事業所名
縫製工※別求人あり	(株)二戸サントップ
大型ダンプ運転手〈要資格〉 (要経験)	(有)福田運送
重機オペレーター〈要資格〉 (要経験)	南建設(株)
配管工・溶接工	(有)菅原設備
配管工※別求人あり	昭和建設工業(株)
内装工事工	インテック(株)
コンクリート圧送研修実務作業員 ※別求人あり	北岩手圧送(株)
コンクリート圧送技能士 〈要資格〉	(有)伸栄興業二戸営業所
配達員(要経験)[期間あり]	(株)トーヨータイヤジャパン 北東北販売カンパニー 二戸営業所
訪問看護師〈要資格〉(要経験)	(公社)岩手県看護協会立 二戸訪問看護ステーション
歯科衛生士〈要資格〉	菅歯科
ドラッグストア販売員	(株)薬王堂二戸店
鮮魚部門(午前8時～午後1時) (要経験)※別求人あり	(株)ジョイス二戸店
宿直員※別求人あり	(社福)麗沢会

毎週月～金曜日開設
◎子育て支援ひろば◎

絵本貸し出し中

園内見学随時受付中!!(お電話ください。)

まつのまるこども園 ☎23-5444
☎25-5445
〒028-6101 二戸市福岡字橋場しあわせ通り19番地

玉姫グループ 福岡セレモニーホール

11月22日(日)
(午前10時～午後3時まで)

事前相談会開催

葬儀に関する不安や疑問
どのようなことでも
お気軽にご相談ください。

福岡セレモニーホール
〒028-6101
二戸市福岡字下町10
☎0195-23-4440
FAX0195-23-4443

二戸市社会福祉協議会浄法寺支所

しょうご
田口 頌悟さん (25歳)

幅広い世代の人たちとともに
「生活しやすい地域づくり」を

一勤めてどのくらいですか

半年になります。

一現在どんな仕事をしていますか

子どもからお年寄りまで幅広い世代の交流事業などを行っています。周りの皆さんに教えてもらいながら、自由にやらせていただいています。

一自己分析するとどんな人ですか

基本的には明るいと思いますが、人見知りなところも…。あと、人ごみが苦手で。ディズニーランドみたいなところは、本当に苦痛なんですよ（苦笑）。

一趣味は

野球やフットサルはチームに所属して頑張っています。冬はスキー。じっとしていられなくて…。休みの日に県外にドライブに出かけたりもします。

一理想の女性のタイプを教えてください

一緒にいて楽しい人ですね。

一将来の夢は

世界一周旅行にいつか行けたら。それから、定年を迎えるころには宇宙旅行も行ってみたいです。



一二戸市に対してひとことお願いします

暮らしやすい地域づくりは、私たちや行政だけではうまくいかないと思います。先日開催した「ふれあい祭り」に小中高生のボランティアが来てくれたのですが、そのように幅広い世代の人たちを巻き込んでいくことが、地域づくりにつながるのではないのでしょうか。

二戸市社会福祉協議会浄法寺支所

浄法寺町下前田 33-1。
スタッフ 90 人。子育て世代からお年寄りまで、地域福祉の拠点として各種事業を行う。浄法寺支所のみ、高齢世帯への食事配送サービスを行っている。



101 杯目 こみゅにTeaたいむ

地域おこし協力隊の活動を紹介します！

＊その1

トリコロールフェスタにチャレンジショップを出店！



子どもから大人までたくさんの方が来てくれました！

地域おこし協力隊の長谷則之隊員と高橋光子隊員は、起業やまちづくりに関する知識を学ぶ「二戸なりわい創生塾」の一

員として、「二戸いいこと体験チャレンジショップ」に出店しました。

長谷隊員は甲冑を着せての九戸政実写真撮影、高橋隊員は「二のHE」ロゴ入りエコバッグづくり体験、また同じ塾生の柴田恵理子さんがビー玉オーナメント&モバイルづくり体験を提供しました。

＊その2

地域おこし協力隊レポート！二戸の宝を生かしたエコツアー・紅葉きれいな折爪岳でおもてなし！

10月11日、今年度7回目となる二戸の宝を生かしたエコツアー「岩手にのへおさんぽ日和」を開催し、市内外から23人が



折爪の山の恵みに「ほっこり」しました

折爪岳で楽しい時間を過ごしました。

「地元の人とおしゃべりしながら山歩きすると楽しいですね」「お昼に食べたホテル御飯、おいしかったね」ツアーに参加した人たちが、にこっと笑みを浮かべます。

えのみの会、市観光協会、銀河鉄道観光そして地域おこし協力隊が協力して準備した今回のエコツアー。参加者に喜んでもらえてよかったねと、準備やおもてなしに関わったみんなも笑顔になっていました。

紅葉深まる秋の折爪岳で、またひとつ大切な思い出が増えました。

問い合わせ先 地域振興課（内線 322）



【恩師と弟子】 集い敬う多くの学者

「田中館先生の会」と書かれた写真がある。1940（昭和15）年5月千葉県姉ヶ崎で弟子と親しく過ごした時のものだ。田中館愛橋が弟子たちに愛され、大事にされたことが分かる一枚である。

当時84歳の田中館は3選の貴族院議員で、帝国学士院第二部部长も務めるなど要職も多く、意気盛んだった。しかし耳が遠くなるなど老化もみられ、傘寿を過ぎてからの外出には、娘美稲さんが付き添うようになった。いろいろな会議や学界に出席する「博士と令嬢」は、いつも温かく迎えられたという。1883（明治16）年に東京大学の助教授に任ぜられて以来、田中館は長



「田中館先生の会」という集まりで千葉県姉ヶ崎で弟子たちと過ごす田中館愛橋（右から7人目）＝田中館愛橋記念科学館提供

岡半太郎（物理学者）をはじめ、多くの弟子を育ててきた。中でも田丸卓郎（岩手県出身の物理学者）と寺田寅彦（物理学者・随筆家）の2人は航空研究所やローマ字運動を共にし、関わりが深かった。

田丸は師の長岡半太郎をして、「ローマ字運動は田丸の才能を浪費する」とまで嘆かせたほどの人物だったが、田中館と共に一生をローマ字運動にささげた。田丸が病軀を押しして3時間ものローマ字普及演説を行い亡くなったと

き、田中館はソ連のウラジオストックで訃報を受け次の句を詠んだ。

「身を忘れ家をわすれて一筋に国につくして果てし君かも（原文ローマ字）」

東京清林寺にある田丸の墓碑は田中館の筆で「Tamaru Takurō no haka」とローマ字で書かれた。

寺田寅彦が亡くなった時、田中館はローマ字仲間の二人の物理学者が世を去られることは痛ましい限り」と深くその死を悲しんだ。

水沢緯度観測所初代所長の木村栄が亡くなる直前、床に伏す木村を見舞った田中館は、添い寝するように耳を傾けその言葉を聞いた。妻は田中館に研究を託す最後の会話と、妻さえ入り込めない深い師弟愛に驚いたという。

田中館を慕い敬う弟子が多かったことは、中村清二（地球物理学者）、小野澄之助（地球物理学者）、本多光太郎（物理学者）、今村明恒（地球物理学者）らの残した著書からも知ることができる。

1946（昭和21）年、田中館の郷里福岡町（現二戸市）に本多光太郎ら著名な博士たちが訪れた。夕食になり膳が運ばれたが、誰も箸を取らない。重ねて勧めると、「館先生が召し上がらぬのに我々が頂くことはできません」と遠慮し、福岡の人々は初めて田中館は本当に偉い爺さんなのだ驚いたという。

（中村誠二 田中館愛橋会事務局長）

【ミニコラム】 飛び乗りにハラハラ 交通局から小言

晩年の田中館は移動に都電をよく利用した。ところが交通局から度々自宅に電話が入った。

「今後は田中館先生の飛び乗り、飛び降りは、絶対にやめさせてください」という注意であった。

田中館は電車を待ち受けては飛び乗ったり、乗り過ぎて飛び降りたりしたのだという。白髪の少し背の丸くなった老人の行動に、周りはハラハラしたらしいが、当の本人は涼しい顔だったという。

こしゃーる

～学びの広がるまちづくり、未来を拓く人づくり～

人に歴史あり 現代へのルーツを学ぶ ～県立図書館郷土資料講座～



奥深い歴史の世界に誘いました この講座は、郷土の歴史や文化を学ぶ機会を通じて県民の郷土愛を醸成しようと、県内各地で開催しているものです。

この日は洋野町の町史編さん専門委員で、九戸歴史民俗の会の酒井久男会長が講師を務めました。「九戸合戦の前後について」と題した講座では、九戸合戦前後の南部領の出来事を説明するとともに、「九戸」や「種市」といった氏に注目し、現代に至るまでにどのような変遷をたどってきたのか、系図や県立図書館所蔵資料のデータなどを元に解説しました。「氏について調べていくと、不思議なことや謎が多い。そこには必ず理由があるはず」と、資料を読み解く難しさと楽しさを、ユーモアを交えながら語る酒井さん。参加者は興味深そうに、熱心に耳を傾けていました。

日本文化の競演、華麗に ～第30回日本文化のつどい～

10月18日、市民文化会館で「第30回日本文化のつどい」が開催され、二戸市芸術文化協会傘下の5団体が、日ごろの稽古の成果を発表しました。



上品で優雅な箏の音色が観客を魅了。華やかな衣装をまとった出演者が、日本舞踊や詩吟、箏や尺八の演奏を披露。伝統と格式を感じさせる舞台に、客席からは大きな拍手が送られました。

総合スポーツセンターアリーナ改修工事のお知らせ

平成28年希望郷いわて国体・剣道競技の開催に向け、総合スポーツセンターのアリーナ改修工事を実施しています。利用者の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。なお、会議室およびトレーニング室は、通常どおり利用できます。

アリーナ工事期間 平成28年3月上旬まで
※進捗状況によっては期間が延びることもあります。
なお、この工事は toto 助成を受けて実施しています。
問い合わせ先 生涯学習課（内線554）

小さな美術館



今回は、御返地小学校の作品を紹介します

大平 俊也くん
（1年）



工作「マイべんとう」

田口 美来さん
（3年）



読書感想画
「ゆうすげむらの小さなりよかん」

折戸 舞さん
（5年）



絵画「自画像」

図書館情報

市立図書館、浄法寺カシオペアセンター 今月の新刊とお知らせ



地方消滅 創生戦略篇

増田寛也・富山和彦 著

地方消滅を避け、真の地方創生へ進むシナリオとは？増田寛也と富山和彦が、移民受け入れ、大学が職業訓練を行うべき理由、東北地方がもつ可能性などについて語り合う。



明日この世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい

樋野興夫 著

命より大切なものを見つけるために、自分以外のもの、外に関心を向けてください。ガン哲学外来の創始者、心揺さぶる言葉の処方箋。

〈その他の新刊〉▷牛と土 福島、3.11 その後。(眞並恭介著)▷自衛隊のリアル(瀧野隆浩著)▷世界の辺境とハードボイルド室町時代(高野秀行・清水克行著)▷昭和史の10大事件(半藤一利・宮部みゆき著)▷腸内フローラ10の真実(NHKスペシャル取材班著)▷動物たちの武器 闘いは進化する(ダグラス・J・エムレン著)▷子どものまま中年化する若者たち(鍋田恭孝著)▷宇宙を撮りたい、風船で。(岩谷圭介著)▷強いおばさん弱いおじさん(小川有里著)▷家族連写(森浩美著)

◆郷土資料の収集にご協力ください

図書館は下記の資料などを、積極的に収集しています。寄贈いただいた資料は、広く市民の皆さんに利用いただくとともに、市の貴重な資料として保存します。
▶歴史や地理、伝統文化や産業などについて書かれたもの
▶本市出身の人や市内在住の人が出版した自分史や、俳句や短歌などの作品集▶市内のグループや機関作成の調査資料や同人誌▶市内企業の社史、社内報、研究報告書▶市発行の刊行物や各学校、幼稚園、保育園で刊行された資料▶昔の二戸市の暮らしが分かるパンフレット など

◆市立図書館 11月の行事

▶第3回郷土史講座(3階視聴覚室)7日(土)午後2時~▶花ぐるまおはなし会(2階児童室)14日(土)午前10時30分~▶三浦哲郎文学を読む会・演劇「若き日の哲郎」鑑賞会(八戸市)21日(土)
▶かつこう読書会(3階視聴覚室)26日(木)午前10時~▶日本古典文学講座(3階視聴覚室)28日(土)、29日(日)各日午後2時~

〈今月の休館日〉◎市立図書館…11月4、9、16、24、27(館内整理)、30、12月7日◎浄法寺カシオペアセンター…11月4、9、16、24、30、12月7日

問い合わせ先 市立図書館(☎23-3447)、浄法寺カシオペアセンター(☎38-4117)

マイ・トレジャーズ

~はじめませんか、あなたの“宝”さがし~

こんにちは！ 二戸菊花愛好会 です！

市文化祭では、美しい菊花と香りで皆さんをお待ちしておりましたが、いかがでしたか。

日本の秋を飾る菊に夢中な私たちの会は、昭和47年発足しました。5月の穂差しから始め、10月半ばに開花。病虫害は？天候は？…など、仲間と情報を交換しながら目と手をかけ、やっと美しい花が咲くと、幸せに包まれます。

菊の花の命は長く、寒い冬の日も、花を観ながら育てた日々や仲間との交流を思い出し豊かな時が流れます。花とこの時が菊作りの宝です。一鉢から誰でも始められる「菊作りの世界」、一緒に楽しみませんか。中央公民館で菊花教室を開催しています。興味のある方はお問い合わせください。



市文化祭での展示の様子。会員が手をかけた花たちが並びます

二戸菊花愛好会

会長 中居昇吾
会員数 8人(菊花教室受講者は12人)
活動 5月の穂差し~11月末、菊花教室は6月から月1回、日時は年間計画によります
問い合わせ、申込先 会長・中居(☎23-6552)
菊花教室については中央公民館(☎23-2870)

Go!
Go!!



2016
希望郷

いわて国体

第71回国民体育大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

【わかやま国体・剣道競技レポート】岩手チーム、大躍進!!

第70回国民体育大会（紀の国わかやま国体）剣道競技が10月3～5日、那智勝浦町体育文化会館で行われ、岩手・成年男子（菅野隆介、古館将、鈴木次彦、赤崎竜一、下川祐造）が過去最高の4位入賞を果たし、来年のいわて国体に向けて弾みをつけました。大将を務めた本市出身の下川選手も活躍。4強入りをかけた対千葉戦では、2対2で迎えた大将戦、中盤に気迫のこもったツキを決め一本勝ち。プレッシャーのかかる場面でしっかりと役割を果たしました。

国体初出場の岩手・成年女子（岡崎千尋、中村優子、千葉実央）は初戦、1対2で惜しくも大阪に敗れたものの、次鋒の中村選手がつばぜり合いから引き際にメンを奪い、強豪相手に一勝をあげました。

来年はいよいよ、この熱戦が本市で繰り広げられ



1/ 対千葉・大将戦でツキを決めた下川選手（左）
2/ 過去最高の4位入賞を果たした岩手・成年男子

ます。期間は平成28年10月8日（土）～10日（月祝）、会場は総合スポーツセンターです。岩手は成年男女、少年男女の計4種目に出場します。ぜひ会場に足を運び、選手たちに声援を届けましょう。

カーリング体験会に参加しよう!

希望郷いわて国体冬季大会のデモスポ・カーリング競技では、小学生以上なら誰でも参加できる体験会が行われます。本市出身の苫米地美智子さんらオリンピックに教わるチャンス！親子や友達同士で参加して、カーリングを体験してみよう！



期日 平成28年2月7日（日）

場所 県北青少年の家スケート場

参加資格 原則小学生以上で岩手県内に居住している人（未成年の場合は保護者の同意が必要）

募集人数 午前の部・午後の部各100人（先着順）

申込方法 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会ホームページから参加申込書をダウンロードし必要事項を記入の上11月30日（月）までに下記まで申し込みください

申込先 岩手県カーリング協会事務局（生内商事株式会社、〒028-6105 堀野字馬場69-3、☎23-3175）

問い合わせ先 岩手県カーリング協会・浪岡（☎23-5201）

二戸警察署のぴかっとニュース

反射材ファッションで事故防止

～ニコアで「まちかど交通安全体験会」～



反射材の活用スタイルを提案した高齢者や親子づれなどに交通事故防止を呼びかけました。

参加団体のひとつ、金田一交通安全母の会（工藤ミナ会長）の皆さんは、高齢者の輪禍被害（自動車などにはねられること）防止の願いを込め、夜光反射材を使ったリメイクファッションを披露。来場者はその発想の新しさに驚きの表情を見せました。

このほか、高齢者と子どもたちがかるたで交通规则を学ぶなど、楽しい体験会になりました。

【運動期間中、二戸管内の人身事故はゼロでした】

守ろう！安全運転五則

これからの季節は路面の凍結などで、事故の危険性が高くなります。安全運転五則を守り、交通事故を防ぎましょう。

- ①安全速度は必ず守る
- ②カーブの手前でスピードを落とす
- ③交差点では必ず安全を確認する
- ④一時停止で横断者の安全を守る
- ⑤飲酒運転は絶対しない

交通事故（9月分） 飲酒運転検挙者

人身事故	2件(28件)	(9月分)
死者	0人(1人)	9月はありませんでした。
負傷者	2人(30人)	1月からの累計 5人
物損事故	34件(334件)	(対前年比 -2人)
()	は1月からの累計	

人の動き

(平成 27 年 9 月末日現在)

人口 28,563 人 (− 39)
 うち男 13,499 人 (− 16)
 女 15,064 人 (− 23)
 世帯数 11,869 世帯 (− 9)
 出生 11 人 (男 5・女 6)
 死亡 25 人 (男 14・女 11)
 転入 29 人
 転出 54 人

火災・救急

(9 月分)

火災出動 1 件 (7 件)
 救急出動 96 件 (925 件)
 () は 1 月からの累計

■空気が乾燥し、火災が起こりやすくなる季節です。暖房器具の使用時など、火の元の管理は十分に行いましょう。

慶弔

休日当番医

※広報発行後に当番医が変更になる場合があります。
 当日の新聞などで確認してください。

月	日	休日救急当番医 (午前 9 時～午後 5 時)	歯科当番医 (午前 9 時～正午)
11 月	1 日	すがわら消化器内科 福岡・☎ 23-2879	こしみず歯科クリニック 一戸町・☎ 33-4618
	3 日	金田一診療所 金田一・☎ 27-2205	曾根歯科医院 金田一・☎ 27-3108
	8 日	むらかみ医院いたみのクリニック 軽米町・☎ 48-1500	国香歯科医院 福岡・☎ 23-2223
	15 日	よこもり眼科クリニック 堀野・☎ 22-2230	ますだ歯科クリニック 石切所・☎ 26-8282
	22 日	千葉耳鼻咽喉科医院 福岡・☎ 23-2009	菅原歯科医院 金田一・☎ 27-3301
	23 日	小野寺クリニック 軽米町・☎ 46-2822	森川歯科医院 堀野・☎ 23-6361
	29 日	おりそ内科循環器クリニック 福岡・☎ 22-2251	宮沢歯科医院 軽米町・☎ 46-2953
12 月	6 日	松井内科医院 一戸町・☎ 33-2201	阿部歯科クリニック 福岡・☎ 25-4182

【市芸術文化協会主催】芸術文化講演会

馬淵川に育まれた縄文文化を世界へ～御所野遺跡の世界遺産登録に向けて～

日時と場所 11 月 21 日 (土) 午後 2 時～ 市民文化会館中ホール

講師 一戸町世界遺産登録推進室・御所野縄文博物館 高田和徳館長

入場料 無料

問い合わせ先 市芸術文化協会事務局・平 (☎ 080-6049-5525)

いちいち編集室

ヨートラックの学生選手権を取材。そのスピードに圧倒されつつ、何とかいい写真を撮ろうと頑張りましたが、来年の国体では、ぜひいい写真を!! それまで修行あるのみ…(泣) 皆さんも会場でのスピードを体感してください! (齋藤)

今回取材させていただいた中で、心弾んだのが「欠端光則さんを囲んでの野球教室(株)阿部繁孝商店主催」。高校の部活中、野球部の打った場外ホームランボールが後頭部を直撃し病院送りになるも、変わらず野球好きなたし。そんなこともあったな、などと回想しつつ少年たちの真剣な眼差しにピントを合わせていると、手元に白球が見え…▽商売道具は長期入院中。どつやら玉に愛される性分の方です(小保内)

秋、楽しんだ？

稲刈りに“かだって”！～浄法寺かだって会



(右) まだぬかるんでいた田。足がはまって抜け出せなくなる子も (中) 「はい、これも束ねて」「了解！」 (左) やすみっこでホッと一息

浄法寺かだって会 (田中直治会長) は9月28日、浄法寺小学校の5年生29人、浄法寺中学校の生徒4人を招き、町内の田で稲刈りを行いました。児童生徒が刈った稲を、かだって会の皆さんがてきばきとはせ掛けをしました。作業の後はお待ちかねの「やすみっ

こ」！手づくりの蒸しパンや漬物を頬張りました。三浦大希君 (浄法寺中3年) は「田んぼがぬかるんでいたのも大丈夫かな?」と思った。抜け出せなくなったけど、転ばなくてよかった。初めての稲刈りってこういう感じなんだなあ」と、作業を楽しんだ様子でした。

わたしにもできたよ！稲刈り～金田一保育所



(右、中) 手伝ってもらいながら、頑張ってるぞ～！ (左) 稲刈りの後には農協女性部から串もちのお振る舞いが。みんなニコリ！

金田一保育所 (荒谷真弓所長) と土地改良区 (下田實理事長) は10月9日、金田一営農組合 (五日市亮一代表) 所有の田で稲刈り体験を行いました。

この日は年長児が参加。始めはおそろおそろ稲を刈っていた子どもたちも、大人と一緒に

刈るうちに少しずつ慣れていき、刈った稲を田の端に運び、大人に束ねてもらいました。作業の後には農協女性部の皆さん手づくりの串もちに舌つづみ。中村紀香ちゃん (5歳) は「初めてだったけど、教えてもらって楽しくできたよ」と、笑顔を見せました。

オール二戸産の食材で、特別な給食～仁左平小学校



(右) 生産者の皆さんに感謝を込め、全員で「いただきます」 (中、左) 「全部二戸でとれたものなんだね」感心しながら頬張りました

地元の農産物に親しむ「オール二戸食材の日」は10月5日に行われ、短角牛丼 (4種の雑穀ブレンドごはん)、豆腐の味噌汁、野菜サラダ、リンゴシャーベットが提供されました。また、仁左平小学校では5、6年生24人を対象にリンゴ農家の工藤一樹さんが出前授業を行

い、シャーベットに使われた“きおう”などについて説明。児童は地元産の農産物を楽しみながら食べました。内田華帆さん (5年) は「肉がやわらかくておいしい。野菜もシャキシャキ。二戸でたくさんの農作物がつくられていることにびっくり」と感激した様子でした。

稲刈りと昔ながらの農機具を体験～中央小5年生



(左) 足踏み脱穀機は初めて！(中) 千歯こきには束を少しづつつけて…(右) 9月7日にはかかし立ても。このかかしのテーマは「ギャル」！

中央小学校の5年生 46人は10月15日、米沢の高村英世さん所有の有機栽培の田で稲刈りと脱穀体験を行いました。児童らは稲を刈り、わらで束ねた後、「千歯こき」や「足踏み脱穀機」で次々と脱穀。高村さんは「昔の機械は先人の努力の証。機械化がどれだけ

素晴らしいことか、覚えてください」と話しました。泥濘奈央さんは「稲をわらで束ねるのが難しかったけど、うまくできたと思う」とふり返り、菅原彩衣さんは「稲刈りや脱穀は初めてで楽しかった。お米を食べる日が楽しみ」と笑顔を見せました。

みんなで植えたサツマイモを収穫～金田一児童館



(左、中) 次々現れる大きなサツマイモに驚きの声を上げながら掘り続けました！(右) 最後にみんなで「とったぞ～っ！」

上海アイガモ米生産グループ(日野沢修代表)は10月22日、金田一児童館の園児6人とともにサツマイモの収穫を行いました。園児らは6月に植えたサツマイモ畑で、自分たちの顔よりも大きいサツマイモを掘っていました。林海斗君は「大きいおいもが

いっぱいあって楽しかった！どうやって食べようかな」とホクホク顔で話しました。収穫を終え日野沢さんは「今日のご苦労様でした。また来年も元気に植えましょうね」と声をかけ、同じく6月にアイガモを放した田で育てられたコメ「きらほ」を手渡しました。

元プロ選手の技を聞く～本市出身・欠端さんの野球教室



(左) ピッチングを真剣に見つめる欠端さん(後列中)(中) スライディングのコツを教える大野貴洋さん(右) 大門和彦さんはボールの握り方を伝授

横浜DeNAベイスターズ欠端光則さんを囲んでの野球教室(㈱阿部繁孝商店主催)は10月18日、大平球場で開かれ、二戸地域の小中学生およそ250人が参加しました。欠端さんらコーチ陣はピッチングやバッティング、走塁などでプロのコツを伝授。本番で

練習通りに行かないときはどうしたら…質問に欠端さんは「常に試合と同じ感覚で練習することが大事。『…しなければいけない』『…しないように』ではなく、ポジティブに『…しよう』『…できる』と考えよう。そうすれば成長できる」とアドバイスしました。



二戸市民文士劇 熱演に感動再び

二戸市民文士劇「天を衝く」は10月3、4日、市民文化会館で上演され、2日間でおよそ1600人が鑑賞。上演後のカーテンコールで主演の古舘聖人さんは「この舞台を観て、ふるさとに思いを寄せてくれたら」と話しました。



1/貞子(村松文代さん・中)と亀千代(三浦怜納さん・右)、政子(大谷ちひろさん・左) 2/政実の死を悼む原田(山井真帆さん・左)と薩天和尚(高橋孝政さん・右) 3/伊保内高生が江刺家神楽で登場 4/南部信直(浅川貴道さん・左)と忠臣、北信愛(小舘秀樹さん・右) 5/南部晴継(中戸鎖綾音さん・中)の死。政実と実親(田中めぐみさん・右)が駆けつける 6/政実、最期の瞬間 7/南部家の正室・富子(飯倉ゆりさん・左)と側室・芳乃(大久保瞳さん・右) 8/亀千代らは自分たちも戦いたいと直訴



(左から) 菅原麻由さん(石切所小6年)、工藤梨花さん(福岡中1年)、福原花恋さん(金田一小6年)、古舘こなみさん(福岡中1年)

～ Interview ～

キャストの演技に感動!!

(菅原さん) 戦闘シーンがかっこよかった。エンディングのテーマ曲もきれいでした!

(工藤さん) 劇の完成度がとても高く、また一人ひとりの心のもった演技に迫力を感じました。

(福原さん) 昨年よりもキャストがたくさん出演していたし、皆さんの演技が昨年以上だと思いました。

(古舘さん) 演技力の高さ、そして政子(政実の娘)役の大谷ちひろさんがテーマ曲を独唱したのに感動しました。